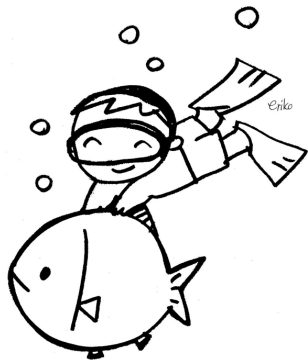




7月 園だより

～ 今月の聖句 ～

枚岡幼第22-19号
認定こども園
枚岡カトリック幼稚園
2022年6月29日

主に向かって 心からほめ歌いなさい。

エフェソの信徒への手紙 I 5章16～18

朝は、お母さんと離れるのがさみしくて「ママがいい・・・」と涙するお子さまが、帰るころには「もっとあそびたかった～!」と泣いている姿を見ると、まさにこの聖句のように「主に向かって 心からほめ歌う」ことを実現しているように思います。なんともかわいらしい姿です。

さて、今年は3年ぶりにプール活動を実施することができました。本格的な泳ぎはさておき、水に親しむ子どもたちの姿は微笑ましいものです。年少組のお友だちにとっては、お着替えを自分ですることも活動の一つです。大人がお手伝いすると簡単ですが、幼稚園では自分でできるように見守っています。手本を見せて声をかけて、時間はかかりますが、頑張っています。ご家庭では、ついついお手伝いしてしまっていると思いますが、その工程の一つひとつをほめてあげてほしいと思っています。

さて、この4カ月の間、子どもたちは、いろいろな経験を乗り越えた心の体験があったことと思います。幼稚園という社会の中で、お子さまは楽しいことと同じぐらい、つらいこと、嫌なことも経験します。その中で学ぶのは大きなものです。大人がすべて嫌なことを排除してしまうと、その子の育ちを妨げることもあります。人の痛みがわかるように、善悪の判断ができるように、自立できるようになるために、お子さまは日々成長されています。どんなときも、子どもたちの力を信じてあげたいものです。

さて、1学期の節目に、個人面接を行います。目的は、「子どもの育ちを、保護者の方とともにわかちあう」ことです。ご家庭での様子もお聞かせいただき、できる・できないという「結果」だけを話すのではなく、園での具体的な子どもの場面を語りながら、「何がどう育っているか」という育ちの「過程」と、どうなっていくのかという「見通し」をともにわかちあいたいと思っています。お子さまの育ちの事実を目を向けつつ、その育ちに「希望」がもてますように、ともに歩んでいきたいと思っています。

□ 7月のねらい

- | | |
|----|---|
| 年長 | ・一つひとつの活動を振り返りながら1学期のまとめをする。
・きらきらサマーデーに向けて活動を深め期待を持つことができるようにする。 |
| 年中 | ・夏ならではの遊びや行事に興味・関心を持ち、友だちと一緒に楽しむ。
・保育者との約束事を守り、安全に水遊びに参加する。 |
| 年少 | ・身の回りのことを自分で行う。
・他児とかかわりを持ち、同じ遊びを楽しむ。
・お仕事や、絵本を通して、様々な名称や言葉を知る。 |
| 2歳 | ・水遊びなど、夏ならではの遊びを十分に楽しみ、開放感を味わう。
・天のお父さまである神さまにちからをいただく。 |
| 1歳 | ・1日の生活の流れがわかり、身の回りのことを少しずつ自らしようとする。 |

畑だより



幼稚園の畑では、とうもろこし・さつまいも・きゅうり・トマト・なすび・だいこん・かぼちゃ・えだまめ・いちご・ねぎ などなど、夏のお野菜が育っています。

「一粒の種が 多くの実を結ぶ」という聖書の言葉を、実感できるところです。

いのちの大切さを身近で感じることができますね。

日々収穫したお野菜は、給食に入れてくださっています。

ミートソースにトマトが入ったり、サラダにきゅうりが入ったりします。

毎日お世話をしてくださる 教会の畑の先生石原さんに感謝です。

